

WHOの「パンデミック条約」は人権侵害の可能性

2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的流行を機に、世界保健機関（WHO）は2024年総会での「パンデミック条約」の合意を目標としています。すでに2022年3月14日、WHOのパンデミックの予防、準備、対応に関するWHO条約、協定、その他の国際文書の起草と交渉のための政府間交渉機関（INB：Intergovernmental Negotiating Body）の初会合が始まり現在に至っています。

条約、合意、その他の国際文書は、国際法の下で法的拘束力があります。条約に調印すると、WHOがパンデミックと判断すれば国家の憲法を越え、WHOガイドラインを人々に義務として課することが可能となります。これに対して、20年間WHOに勤務してきたアストリット・ステュッケルベルガー（Astrid Stuckelberger）博士は、すべての国がWHOに抗議の公文書を送るべきだと警告してきました。

国家の憲法よりWHOガイドラインが優先されると、新型コロナウイルス感染症を例に挙げればマスク着用、ワクチン接種、ワクチンパスポートなどの義務が課された場合、個人の選択権は認められず日本国憲法の三大原則の一つである「基本的人権の尊重」が侵害される可能性が極めて高いのです。これはとても危険なことです。基本的人権の尊重が侵害される社会で人々は幸福に暮らすことはできません。

WHOは「パンデミック条約」より、安全性の確認されていない新型コロナワクチン接種により、世界中で死者や後遺症患者が増え続けていることに終止符を打つべく、最優先で対策を講じる必要があります。ワクチン接種が原因で死者や後遺症患者が増え続けることは医療ではありません。この緊急課題に対してWHOの何ら対策を講じない姿勢は人道的に許されることではありません。さらに、このような姿勢のまま「パンデミック条約」の準備を進めることはさらなる悲劇を生むことに繋がります。

しかし、すでに準備は始まっています。事実、WHOのテドロス事務局長は今年5月30日、感染症への対応を強化するためのパンデミック条約について「加盟国の課題は12カ月後に強力な条約に合意できるよう交渉を進めることだ」と述べているのです。これに対して、日本政府は条約の具体性について国民に何も説明せず交渉に参加し続けています。

その一方、早い段階から「パンデミック条約」に警告を発し、反対を表明してきた人々や団体も存在します。日本ラエリアン・ムーブメントは2021年4月13日、【日本ラエリアン・ムーブメントは強制的なワクチン接種やワクチンパスポートに反対します。強制的なワクチン接種は人体実験と同じです。】のプレスリリースを皮切りに、新型コロナワクチンの危険性や同調圧力を利用した強制力を伴うマスク着用や新型コロナワクチン接種に反対し警告を発してきました。さらに、2022年3月28日【WHOの「パンデミック条約」に、断固反対します！】、直近では2023年10月20日【WHOの「パンデミック条約」は人権侵害の可能性】のプレスリリースを発表しています。

現在では、インターネット上で可能な署名サイトも運用が始まっています。

政府間交渉（INB）は現在、上級官僚が諸調整を行いながらパンデミック条約案を起草中です。

そして11月6～10日に会合があり一つの節目を迎えます。さらに12月～2024年5月までINBと起草グループ会合を随時開催してパンデミック条約案を固めてから直ぐに、2024年5月第77回WHO総会で提出して採決の予定となっています。

憲法で保障されている「基本的人権の尊重」が侵害される懸念がある以上、日本政府はINB及び起草グループ会合に加わることを拒否すべきです。さらに、このような条約案の採決を推進しようとするWHOからの脱退を視野に入れ、国会で十分な審議を行い、「基本的人権の尊重」が侵害される懸念が払拭できなければ、WHOからの脱退を表明し国民の基本的人権を守る意思を示す必要があります。

● 署名サイト

<https://voice.charity/events/592>

● ラエリアン・ムーブメント プレスリリース

【日本ラエリアン・ムーブメントは強制的なワクチン接種やワクチンパスポートに反対します。強制的なワクチン接種は人体実験と同じです。】 2021年4月13日

<https://ja.raelpress.org/news.php?item.313.1>

【WHOの「パンデミック条約」に、断固反対します！】 2022年3月28日

<https://ja.raelpress.org/news.php?item.331.1>

【WHOの「パンデミック条約」は人権侵害の可能性】 2023年10月20日

<https://ja.raelpress.org/news.php?item.360.1>